

ハハ佐渡へく アリヤサ 佐渡へと草木もなびくよ ハアリヤアリヤアリヤサ

小学生が「佐渡おけさ」を披露



第8回佐渡市小学校親善陸上競技大会で披露された佐渡おけさ



各小学校では本番に向けた練習が行われました(写真は羽茂小学校)



9月29日、市内の全小学校5・6年生が第8回佐渡市小学校親善陸上競技大会において、佐渡おけさの踊りを披露しました。

市では、平成18年度から小・中学校で佐渡の自然や歴史、文化を学ぶ学習「佐渡学」を推進しており、学校では従来、運動会や総合学習発表会などで佐渡おけさを披露しています。しかしながら、佐渡おけさは島内各地域で特色があり、踊りや地方(唄・三味線・はやしなど、伴奏音楽を演奏する人々)に若干の違いがあります。そのため、民謡団体が他の団体に演奏の応援を頼んでも合わせる事ができない場合があり、佐渡おけさの衰退が危惧されていました。

そこで、後継者育成のために民謡団体の協力を得て、一緒に演奏したり、踊ることができるようにもとめ上げました。今回は、この佐渡おけさの練習の成果を発表したものです。佐渡おけさは、祖先から引き継がれた誇り高いものです。子どもたちが将来社会に出て、どのような場面においても自信と誇りを持って踊れるよう、価値ある伝統文化を体で覚えてもらいたいと考えています。

県内初

タウンページ&ハローページに 暮らしに役立つ「佐渡市市民便利帳」を掲載

来年6月発行

NTT番号情報株式会社が来年6月に発行する電話帳「新潟県佐渡版タウンページ&ハローページ」に、暮らしの情報としての「佐渡市市民便利帳」を掲載することになり、10月5日、市役所で共同制作合意式が行われました。

電話帳と暮らしの情報の合冊版の発行は、県内で初めてで、全国でも4例目です。

市では、従来から広報紙やホームページなどで、各種手続きやイベント

ト等の身近な情報をお知らせしながら、さらなる市民サービスの向上を目指すとともに、地域活性化につながる情報発信の方法を検討してきました。そこで、「行政の総合案内」となる「市民便利帳」を、従来の電話帳の中に特集企画として組み入れる形で発行し、市民の利便性を図ることとしました。

市民便利帳には、行政情報として、暮らしに役立つダイヤル、各種届出・相談窓口等の暮らしの手続き、ごみの出し方などの生活環境ガイドのほか、観光スポットやイベント情報など、市民生活に密着した内容を掲載する予定です。

発行は平成24年6月で、5月中旬に全戸配布する予定です。また、次年度以降も、電話帳の発行時期に合わせて新しい行政情報を更新して掲載・発行していくことにしています。

電話帳との合冊版の発行により、暮らしに役立つ行政情報が手軽に閲覧できますので、市民の皆さんに、便利にご活用いただけるものと期待しています。



市役所で行われた共同制作合意式の様子。NTT番号情報株式会社の渡邊紀夫取締役(写真左)と高野市長(右)。